

広報

いまり

市の人口

9月1日現在
総人口 58,980 人
男 27,597 人
女 31,383 人
世帯数 14,852 世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

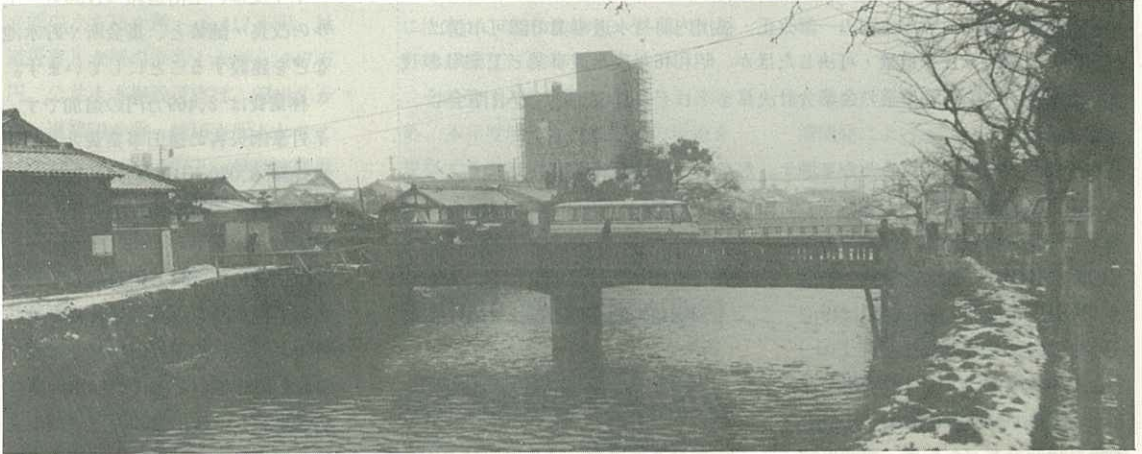
○毎月1日発行

定価1部5円

昭和47年10月1日

伊万里市役所秘書企画課発行

No. 224



工事を急いでいた伊万里川の幸橋（さいわいばし）と延命橋がほとんどできあがりました。22日からのトンテントン祭りまでには開通する予定です。

ことしは、この両橋の上をみこしとダンジリが威勢よくかけまわることでしょう。（写真は、上がかけかえる前の幸橋、下がかけかえた幸橋です。）

広報こよみ

- 1日～12月31日 赤い羽根共同募金
- 8日 消防総合訓練展示大会（伊中グラウンド）
- 11日・24日 交通事故相談日
- 15日 県中体連陸上競技大会（国見台陸上競技場）
- 19日 無料法律相談日

22日 小学校児童陸上運動会（国見台陸上競技場）

22日～24日 トンテントン祭り

47' **10** 月

災害復旧に1億7,000万円

第3回定例市議会ひらく

第3回定例市議会は9月14日招集、昭和47年度一般会計補正予算や国民健康保険・簡易水道など、3つの特別会計補正予算をはじめ、工場等の設置奨励に関する条例の一部改正・福川内簡易水道事業の認可申請に関する議案などを審議・可決したほか、昭和46年度水道事業・工業用水道事業・市民病院事業の企業会計決算をそれぞれ認定して、27日閉会しました。

そのあらまは次のとおりです。ただし、企業会計決算の内容は、一般会計決算とあわせて特集号でお知らせします。

◎昭和47年度一般会計予算に4億6,017万円を追加、予算総額は49億7,844万円になりました。

こんどの補正は、国・県支出金などが未確定で、財源の見通しが最も困難な時期であったため、補助事業として内示のあったものや認承が見込めるものなどのほか、7月豪雨災害の復旧事業費をおもに計上しています。

固定資産を全面評価がえ

総務費に628万円を追加しました。波多津町市有林野管理区交付金175万円、46年度から年次計画で進めている大川町モデルコミュニティ施設の側溝や駐車場整備費68万円のほか国の通達によって、ことし12月までに行なう固定資産の全面評価替えのために必要な賃金や備品費307万円などを計上しています。

民生費は、遺族会が8,134万円をかけて、佐賀市の護国神社境内に建設した平和会館に対する寄付金56万円と、同和地区に建設する大型共同作業場倉庫と道路約160メートルの工事費や、用地購入費763万円のほか、大坪保育園の敷地造成費と、市立になる牧島保育園増改築費1,053万円、伊万里川拡幅事業に伴う伊

里保育園の門柱移転費など、あわせて2,245万円を追加しました。

みかん選果場増築終わる

農林水産業費には2億244万円を追加しました。

南波多町で実施している農業構造改善事業の、一部事業繰り上げや事業面積の増加に伴う追加2,813万円と、増設したみかん選果場に対する県補助金の受け入れ交付分7,253万円、出荷調整のため大川と南波多農協が建設したみかん貯蔵庫3棟に対する補助金410万円のほか、土地改良事業で、南波多町笠椎など6か所の農道を改良・舗装することにしたため、その経費に1,778万円、県単独事業で進めている大川町井手口地区のなし園造成事業に対する補助金220万円と、市内に放置されたままになっている12の坑口を閉鎖するため、地すべり対策費に52万円を計上しています。

昨年度から2か年事業で進めている、南波多町大川原地区の生活プロジェクト実験集落事業には、4,686万円計上しています。はじめこの事業費は、農業振興費に組み込んでいましたが、事業費が大幅にふえたため明確にさせるためこんど新に費目を

設けました。

本年度は、生活道路1,730メートルの改良・舗装と、集会所や貯水池などを建設することになっています。

林業費は2,469万円の追加です。7月豪雨災害の復旧事業費として査定総額8,050万円の約30%にあたる19か所分・2,429万円を計上しています。

衛生費には181万円追加しています。下排水路をさらえるための委託料30万円と、鉱害復旧事業で建設することになっている山代町福川内簡易水道事業への繰出金60万円のほか立花台地の一画に設けている不燃物捨場が同台地の開発計画にしたがって整地が進められることになったためその位置を変更することにし、予定地の雑木伐採や整地費として30万円を計上しました。

立花台地への道路

本年度内には完成

土木費は、本年度補助事業で建設する二里町大里川下流の流鏝橋（やぶさめ）が、橋の部分だけ補助対象になったため、両側の取付道路を市単独事業で建設することにし、その土地購入費や家屋移転補償費などに1,413万円を計上しました。

都市計画費は、長谷～脇田線（旧称坂口～脇田線）の立体橋の建設費などに956万円を追加しています。

なお、長い間市民の皆さんにご不便をかけた、立花台地に通ずる長谷～脇田線の立体橋と改良工事は、本年度内に完成することになっています。いましばらくごしんぼうください。

大川町丸野地区で 鉱害復旧事業

災害復旧費には、これまで査定を終えたものなど、7月発生災害の復旧費1億7,216万円を計上しています。

その内訳は、農地災害70か所のうち15か所・707万円、施設災害300か所のうち75か所・6,417万円、林道災害3か所のうち1か所・147万円、公共土木施設災害は、河川8か所・道路50か所・橋16か所あわせて74か所・7,414万円と、学校施設災害は査定を終わり9校分・343万円を計上しました。しかし、7月発生災害は775か所・6億4,300万円にものぼっています。今回の補正はその22%・174か所分の計上にとどまりました。こんご更に復旧に努力しなければなりません。

鉱害復旧費に2,184万円を追加しました。

これは、本年度から49年度までの3か年間に、鉱害復旧事業によって大川町丸野地区の農地19ヘクタールと道路1,115メートルを1億3,520万円を投じて復旧するもので、こんどの補正は、本年度に実施する農地2.2ヘクタールと道路130メートルの復旧費を計上したものです。

商工費は、総額1,415万円の追加です。

名村造船の進出で影響をうける漁業関係業者の経営安定を図るため新しく条例を設けて1,000万円を融資金として預託することにしたほか県市で2.5%の利子を補給することにしました。また、7月豪雨で被害をうけた中小企業者に対しても2%の利子補給を行なうことにしています。

観光面では、来年2月、鹿児島市で開かれる全国菓子大博覧会に、菓子工業組合伊万里支部が、トンテン祭りをかたどった砂糖菓子を出品することになっているため、その出品経費として10万円を補助すること

にしています。

教育費889万円の追加は、同和教育指定校である大川小・中学校が県下ではじめて家庭訪問による学習指導を行なうため、その生徒指導補助金として22万円を計上したほか、波多津公民館の用地購入費や建設工事請負費に784万円を追加しています。また、31回国体の開催県が佐賀県に決定し、本市でもホッケーと軟式野球が行なわれます。

その受け入れ体制をととのえるため、本年度開催県の鹿児島県の現地を視察するための旅費44万円などを計上しています。

福川内に簡易水道を建設

◎簡易水道特別会計補正予算には746万円を追加し、予算総額9,585万円に改めました。

これは、鉱害復旧事業によって山代町福川内地区に簡易水道を新設することにしたための追加です。

この事業は、本年度と来年度の2か年継続事業で実施するもので、給水戸数60戸・給水人口250人・1日給水量60トンの能力をもつもので総事業費は1,500万円を見込んでいます。

◎国民健康保険特別会計補正予算は、2,805万円を追加、予算総額は4億4,336万円になりました。

これは、昭和46年度の決算見込みによる繰越分2,805万円を予備費に組み入れたものです。

◎と畜場特別会計補正予算も昭和46年度の決算見込みで繰り越すことになる169万円を予備費に組み入れました。

◎市民病院事業特別会計補正予算は、入院患者に対する看護の充実とサービス向上をはかるため病室と看護婦詰所などを結ぶ呼び出しブザーや食器保管庫を設備するための追加です。

◎教育委員である山崎重雄氏(大坪町・64歳)と小嶋猛司氏(黒川町63歳)が9月30日任期満了するためそれぞれ再選されました。

◎固定資産評価審査委員会委員の前田儀七氏(二里町・55歳)も9月13日で任期満了したため再選しました。また、欠員になっていた固定資産評価委員会委員の補欠委員には原米一氏(大川町・65歳)が選ばれました。

◎名村造船所の誘致など、伊万里湾開発によって、経営が困難になる関連中小企業者に対して、資金の貸し付けや、利子補給を行なう条例を設けました。この資金を運用して転業や経営安定を図っていただくことにしたものです。

◎工場等の設置奨励に関する条例を一部改めました。公害を防ぐため工場などを建設するものは事前に届出の義務を課し、おこたったときは優遇措置を適用しないものです。

長浜ダムの工期延長は 継続審査に

◎西部地区の工業用水を確保するため、昭和45年度から3か年の継続事業で進めていた長浜工業用水ダムは、貯水地の漏水を防ぐため設計修正が必要になり、貯水施設部分などの工事を中止していました。

その間、国や県と工法などについて再三検討を加えた結果、工法を変えることで工事を再開するメドができました。

そのため、事業費に1億2,724万円を追加、総事業費を6億4,269万円に増額し、更に工期を昭和49年度まで2か年延長することで議会の承認を求めました。

しかし、議会としては重要な問題だけに、こんどの議会会期中に検討審議することはむずかしいとして継続審査に付し、慎重に検討を加えることになりました。

市内の最高令者は99歳

竹内市長が最高令者を慰問

75歳以上のおとしよりを対象とした敬老会が、9月15日から18日にかけて市民会館など市内13か所で開かれました。

現在、75歳以上のかたは、男794人・女1,342人あわせて2,136人でこのうち88歳以上が1.3パーセント30人です。

竹内市長は、9月14日、市内の最高令者である松島町の村山タカさん(99歳)と男の最高令者である東山代町脇野の山口又助さん(96歳)を訪問し、お祝いに和風ふとんを贈りました。

又助さんは、96歳とは思えないほど元気で、朝は5時に起きておつとめをし、ミュンヘンオリンピックの会期中は、日本選手の活躍ぶりを夜遅くまでテレビで観戦していたそうです。近ごろは近所に遊びにでかけたり、テレビですもうを見るのが日課のようです。15日の敬老会をたのしみにしているようでした。

タカさんは、昨年の暮れにカゼをひき、それ以来床についたままですが、竹内市長が「早く元気になってください。来年またきます」と呼びかけると、顔にほほえみをうかべてうなづいていました。一日も早く元気になってほしいものです。

いっぽう、老人福祉センターでは9月12日から14日まで「寿まつり、

が行なわれ、連日たくさんのおとしよりがつめかけ囲碁・将棋・演芸大会とたいへんなにぎわいでした。

ことし4月に開館したセンターも7月の5,215人を最高に、8月末日までに2万人ちかい利用者がつめかけています。なお、95歳以上の高令者は次のとおりです。(年令順)
村山 タカ 99歳(松島町)
多久島イト 97歳(上仲町)



▶相変わらず元気な山口又助さん▶

松尾 ヨシ 97歳(木須町)
山口 又助 96歳(東山代町脇野)
山口 嘉市 95歳(松浦町中通)
梅崎 マス 95歳(大川町駒鳴)
福川 タツ 95歳(黒川町大黒川)
吉武 シヲ 95歳(山代町福川内)
草野 ツナ 95歳(東山代町脇野)

小島敬助氏に晴れの叙勲

地方自治と農業振興に功績



▶小島敬助氏▶

昨年4月任期満了を機会として市議会議員の職を辞された小島敬助氏(山代町桶久・72歳)は、長年議員として地方自治の発展に貢献されたとして、このほど勲5等瑞宝章を受章されました。

小島氏は、昭和26年4月山代町議会議員に当選、以来、昨年4月まで

20年1か月の長い間議員として活躍その間、建設委員長や産炭地域振興対策調査特別委員長の要職をつとめるなど、市の発展につくされました。また、かたわら農地・農業委員16年、山代東部・市農業協同組合理事20年、市農業共済組合理事として12年の長きにわたり、その育成と農業の振興に貢献されました。

9月2日には、この輝く功績をたたえ、伊万里玉屋で受章祝賀会が開かれ、約150人の参会者から祝福を受けました。

とし生けるものが、みんないきいきと生きてきて、しかも、すべてが自分のためにあるような思いが生じてくる。
魂を失った現代人は、一度ふるさとに帰るとともに心のふるさとをも発見し人間の底からあふれてくる本当の姿にふれて湧きあがってくる真の活力を得てもらいたいものである。
いま伊万里市は、どこもかしこも大きな工事が行なわれている。去る八月二十五日には、名村造船所が進出してくる七ツ島団地で県の起工式が行なわれた。
知事の手でハッパのボタンが押されると、海の中に水柱が立ち、島は大音響とともにその姿を海中に没した。わたしは、心中ひそかに天地に祈りつづけた。その一つは、この自然あるがゆえに大工事のできるお礼である。その二つは、その形をかえることへのおわびであり、その三つは、このことが伊万里市の本当の発展になるようにとの願いである。「いのり」の姿が忘れられない限り、自然と調和のとれた発展が約束されるように思う。

伊万里の交通事情を視察

衆議院交通安全対策委員の一行

今泉勇委員長を団長とする衆議院交通安全対策特別委員会の一行60人は、9月6日、伊万里・西松浦地区の交通事情を視察しました。

この一行は、地方の交通事情や交通安全施設などの整備状況を調査するために訪れたもので、総理府内閣総理大臣官房交通安全対策室の魚谷増男氏や警察庁交通局鈴木金太郎運転免許課長・建設省道路局大島哲男国道第1課長などが同行しました。

竹内市長は、伊万里・西松浦地区を代表して交通の現状を説明すると



▶要望をうける衆院交通対策委の一行◀

ともに、交通安全教育の充実をはかるための交通公園設置費などの補助交通安全教育に必要な教材費の援助国道202号線バイパスの早期

完成と交通安全施設の整備▷名村造船所の進出に伴う国道の交通事情の悪化を防ぐための江湖の辻～木須線大坪～木須線など都市計画道路の整備▷駅南のバイパス建設促進▷伊万里駅の地下道建設▷西九州自動車道の一環として、県道佐世保～伊万里線の改良舗装と国見山トンネルの早

期実現▷1・2級市道の整備による交通安全対策費の強化促進など11項目にわたって要望しました。

また、すでに完成した祇園町森永三叉路から県道伊万里～武雄線に通ずる国道202号線バイパスを1日も

早く通行させてほしいなどを要望しました。なお、当日は、青木有田町長や執行伊万里警察署長など関係者約50人が同席しました。

人事異動

職員の退職に伴い、後任配置と欠員補充のため、9月1日付で次のとおり一部人事異動を行ないました。
▷総務課付＝浦山義光（財政課長補佐兼管財係長）▷同＝幸島正子（母子寮係長待遇）▷財政課管財係長＝淵上辰己（財政課係長待遇）▷母子寮係長待遇＝古川スギエ（伊万里保育園係長待遇）▷市民課＝岩崎和子（南波多出張所）▷伊万里保育園＝吉住喜美子（新規採用）▷依願退職＝松尾順子（市民課）

おわび

9月号の人事異動の記事中に▷市民会館館長＝前山俊夫（総務課長）とあったのは総務課長兼市民会館館長のあやまりです。おわびして訂正します。

消防力の全容を市民に公開

10月8日に伊中グラウンドで

市消防署は、消防力を市民の皆さんに披露するため、消防機械・器具を展示するとともに消防活動全般にわたっての消防総合訓練展示大会を行ないます。ぜひご参観ください。
▷日時 10月8日（日）9時～12時
▷場所 伊万里中学校グラウンド
▷展示種目
・消防車両・器具

- ・署員の規律訓練
 - ・消防ポンプ操法
 - ・油火災やプロパンガスの消火訓練
 - ・救急隊訓練（応急措置）
 - ・特別救助隊訓練（レインジャー）
 - ・高そう建物救助訓練
 - ・交通事故者の救出訓練
 - ・いっせい放水訓練
- などを予定しています。

の祈りに支えられて、生き

「いのり」は、神仏に祈り、天地に祈ることによって、実は自分を見つめてゆくのである。自分を見つめてゆくと、人間はどこまでも自然の一部であり、大きな自然の中に生かされて生きていくことがわかる。それが心のふるさとを発見したこと外ならず、そして、大自然の中に生かされていく自分が生かされていく、本物の祈りが生じてくるともいえる。そして、その祈りに支えられて、生き

いまの世の中は、「いのり」の姿を忘れた時代といえる。
わたしは、毎朝五時に起きて庭に立ち、天地に祈る祈っていると、心のふるさとに帰ったような安らぎをおぼえる。
今の人間は、自分の生まれたふるさとを忘れ、心のふるさとである祈りを忘れていく。



生涯教育をどう進める

伊万里で県公民館大会ひらく

県公民館連合会・県教委・市教委主催の「第19回佐賀県公民館大会」は、8月24日、県内の公民館職員や部落公民館役職員・公民館運営審議会委員・市町村社会教育課職員など日ごろ公民館活動に関係のある団体の役職員約1,200人が参加して、市民会館大ホールで開かれました。

公民館が地域における社会教育の中心として生涯教育を進めるための公民館活動のありかたなどを研究討議し、県内関係者がよりいっそう連けいを密にして、公民館に課せられた使命をはたそうと開かれたものです。

高添門司県公民館連合会長のあいさつにつづいて、竹内市長は、「伊

万里市は、市民の魅力づくりを市政の最大の眼目として努力している。県公民館大会が本市で開かれたことを契機とし、公民館活動を軸として魅力づくりと取り組まなければならない」とあいさつしました。

また、12年の間、成人教育や青少年教育に身をもって指導にあたり体力づくりの推進につとめた山代公民館運営審議会委員長の山口正次さんなど、公民館活動に功績のあった人たち10人と優良地区公民館5館の表彰や佐賀銀行頭取土井末夫氏の講演「近ごろのよもやま話」を聴講しました。

午後から、青少年教育・成人教育住民運動・同和教育・部落公民館の

5部門で研究発表が行なわれ、助言者をまじえて熱心な討議がかわされたほか、同大会の研究テーマでもある「生涯学習を進めるため、公民館はどのような活動をすればよいか」について、伊万里市から市教育委員会の中尾国雄社会教育係長は、「公民館における同和教育を進めるための具体的な方策で、同和対策の経過措置や同和教育の必要性・「地区」のびびとに対する教育・市民に対する同和教育推進の現状など、公民館活動での実績をもとに研究発表を行ない、参加者に深い感銘を与えました。

また、住民運動の部では、武雄市西川登公民館の山口英夫さんが「明るく正しい選挙を推進するための政治学習の進め方」で研究発表を行ないました。

同公民館は、市の明正選挙推進協議会と共同して、選挙時における啓発事業や老人には老後のくらし、婦人は選挙のないあいだ経済の勉強や青年には自治のめざめ、選挙の勉強など、市民の政治意識向上に努めている実績を報告して注目を集めました。

住みよい社会をつくる

郵便貯金と簡易保険

今日は「住みよい社会をつくる郵便貯金奨励月間」です。

皆さんが預けた郵便貯金は、貯蓄意欲の向上とともに年ごとに増加し10兆6,000億円をこえました。

この貯金は、国の財政投融资として運用され、皆さんにいちばん身近な学校・病院・上下水道などをはじめ、住宅や店舗の新築から事業の運転資金と幅広く役立っています。

豊かな暮らし、明るい社会を築いていくためには、財政投融资の大きな資金源である郵便貯金の働きがいっそう重要になってきています。

「郵便貯金奨励運動」は、豊かな国や町づくりの役割を果たす郵便貯金をよく理解してご協力いただくために郵政省を主体に国や各市町村が協力して進めているものです。

また、忘れてならないのは簡易保険の役割です。簡易保険は、わたしたちの生活を保障するだけでなく郵便貯金と同様公共施設の整備などに広く運用されています。

伊万里市でも、昨年度までに総額3億3,363万円にのぼる巨額の融資を受け、施設の整備を進めています。昨年度だけでも、約7,200万円の融資金で、八谷橋～上伊万里駅線の舗装や長谷～脇田線立体橋建設、市営住宅の建設資金に当てたほか、松浦小学校屋内運動場を建設しました。

この資金源は皆さんが加入した簡易保険でまかなわれているのです。9月からこの簡易保険に「ニュークローバー保険」という7倍保障の新しい保険も誕生しました。18歳から45歳まで加入できます。

＝ 塩 の 効 用 ＝

- ・竹細工は濃い塩水で洗うとよい
- ・じゅうたんの上に塩をまくと、ちりとり色沢をよくする。
- ・エナメル器具のシミは、レモンを輪切りにし塩をつけてよくこするととれる。
- ・しんちゅうは酢に塩をまぜてみかくとよい。また、アルミニウムはキルクに塩をつけてみかく
- ・鉄器はレモン汁に塩をまぜてみかく、水洗いしたあとで油布でふく
- ・シミを除くためガソリンを使う場合、塩を少し入れると輪ジミがでない
- ・着物を血でよごしたときは、0.5%の塩水で洗えばよくとれる

受診者の60%が異常あり

昨年度の成人検診の結果

近年は、結核に変わり「成人病」といわれている中枢神経系の血管損傷（脳卒中）・悪性新生物（がん）心臓疾患などがお主な原因で死亡する人がふえています。

しかもこの病気は、40歳前後の働きざかりの人に多いことから、社会的にも、家族的にも重大な問題をなげかけています。

もちろん市は、成人病のうちでも最もおそれられている脳卒中の予防に重点をおき、35歳から64歳までの成人を対象に医師の診察や血圧測定心電図・尿検査などを実施するほか保健婦による健康相談や生活指導などを続けています。

昨年度は、市内19地区でこの検診を実施しました。しかし、各地区とも受診者が少なく、わずか7.3%の受診率にとどまりました。

検診結果をみると、受診した401人のうち、健康体の人はわずか178人・44.4%で、日常生活には支障はないが、わずかに異常があると診断された人が63人・15.5%、要注意者52人・12.9%、要治療者が109人と27.2%を占めました。

しかも、これらの人たちのおよそ80%は動脈硬化症や高血圧・高血圧性心不全・心臓などに異常が見られています。

受診率52.9%・37人と最も受診者の多かった波多津町馬蛤潟地区をみると、要治療2人・要注意10人・わずかに異常があった人9人で、健康な人は12人・43%という結果でした。第2位の南波多町重橋地区は29人37.8%が受診しました。結果は、要注意1人・わずかに異常があった人4人で、ほかの24人は全員健康であ

ることもわかりました。

検診結果によって、異常のあった人たちは、それぞれ医師の治療や保健婦の指導によって養生につとめています。健康であった人たちは更に自分の健康に自信をもつことができたわけです。

集団検診のねらいは、このように日ごろ健康と思込んでいる人たちの潜在的な病気を、より早く発見しより早く予防していただくために実施しているものです。

しかし、最近の傾向は、生産第一主義で、自分自身の健康に対する注意がおろそかにされています。

生活をより向上させるための努力ももちろんたいせつです。しかし健康なくして生活の向上も、明るい家庭生活も望むことはできません。

わたしたちは、もう一度自分の健康についてよく反省してみる必要があるようです。

そのためには、このような集団検診の機会を利用して、自分自身の健康状態を確かめることが大事です。

本年度は、第1次として5月に大

成人検診の地区別結果

地 区	受 診 状 況 (%)	結 果			
		異常なし	少し異常	要注意	要治療
全 体	7.3				
大川内町正力坊	17.1				
黒川町花房	21.0				
〃 浦分	14.5				
波多津町内野	14.2				
〃 馬蛤潟	52.9				
〃 中山	19.0				
南波多町重橋	37.8				
〃 府招下	20.0				
〃 原屋敷	11.0				
大川町戸石川	14.4				
〃 川原	14.9				
松浦町村分	4.0				
〃 中通	17.9				
〃 下分	0.5				
二里町内馬場	8.9				
〃 川東	1.4				
東山代町〇里	0.0				
山代町立岩	6.9				
〃 久原二区	2.8				

川町駒鳴や東山代町長浜など12地区で検診を行ないました。しかし結果は昨年度より1%上回る8%程度の受診率にとどまりました。

11月には16地区で検診を計画しています。自分の健康状態を再確認していただくためにも一人でも多く受診してほしいものです。

待たれている道路舗装

広報アンケートの結果(中)

市政に対する市民皆さんの意見や要望・有線放送・環境衛生について調査した結果をお知らせします。

市の重点施策として特に力を入れてほしいものは、道路の整備です。

車両の増加、車両の大型化に伴い道路の破損がはげしいため舗装を強く望んでいます。

そのほか、最近の物価高から物価対策や交通安全対策・青少年の不良化を防止するための青少年対策・企業誘致・住宅・都市計画の促進・教育施設の充実・農林水産業の振興について多くの要望がでています。

市政に対する意見も道路の整備促進のほか、ごみ・し尿処理・蚊やばえ対策・下水溝の整備促進などに意見が集まっています。

豊かで住みよい魅力のある市政を推進するには、皆さんの希望をかなえる市政、誤解から生まれた不平や不満の解消に努めなければならないと思います。

よく聞かれている

「市政の窓」

農協の有線放送で「市政の窓」や「市役所だより」を放送しています

「市政の窓」は、毎週土曜日の朝と夜の2回、予防接種や催し物のお知らせなど「市役所だより」はそのつど放送しています。

有線放送をもつ869人について調査した結果、283人(32.5%)が毎週聞いており、ときどき聞く446人(51.3%)、聞いたことがないと答えた人は108人(12.4%)でした。

放送時間の希望は、朝6時と夜9時が最も多く、現在、朝6時15分と夜9時15分に放送しており、問題は

ないと思われます。

放送に対する意見も多くだされています。火災発生場所を知らせよテーマ音楽を放送前に流せ・子どもむけの放送など建設的な意見がありました。

また、放送は聞き流しになるためお知らせなどは繰り返して放送せよ放送がはっきりしないので再検討せよなど意見がでています。

広報とともに市政の動きを市民に知らせる機関である有線放送をより充実させるため、市民の意見を取り入れ、有線放送設置機関とともに検討しなければならないと思います。

ごみ収集時は合図を

市は、ごみやし尿をできるだけ早く、きれいに処理するため、昨年5月から、ごみは衛生的で能率のあがる袋収集方式、し尿処理は「定額制」に改めて実施しています。

ごみの袋収集について、袋の厚み収集の状況・袋収集方式に対する意見など調査した結果、厚みでは、いまのままでよいと答えた人が、青袋52.8パーセント、ピンク袋39.2パーセントありました。ピンク袋については、もっと厚くせよという人が多く、未回答の人を除いて55パーセントを占めました。

袋の大きさについては、大袋(73%)小袋(70%)ピンク袋(61%)で、ともに60パーセント以上の人がいまの大きさでよいと答えています

また、収集の状況は、必ず決まった日に収集していると答えた人が60パーセント、だいたい決まった日に収集すると回答したもの30.4パーセント、3日から7日遅れてくる・連

絡しないときてくれないと答えた人が3.7パーセントありました。なお袋収集方式に対する意見も多くだされています。衛生的でよい・残飯まで処理できて助かる・収集時間が決まっているのでよいなど以前に比べてよくなったという意見がだされました。

また、収集するときに音楽を鳴らせ・犬や猫による袋の破損を防ぐために柵を設けるか箱をおき、ごみ袋を1か所に集めてはどうかといった犬や猫に対する対策と収集能率をあげるための提案もありました。

し尿汲み取り状況は、支障のない日に汲み取っている・ときどき遅れるが支障はないが82.7パーセントあり、あらかじめ組まれた日程にそって汲み取りが行なわれているようです。しかし、意見の中には、残らぬように汲み取ってほしい・あと始末が悪い・連絡しないと汲み取ってくれないといった意見や苦情などがありました。

市民の暮らしに密接な関係がある環境衛生事業は、市の重点施策とともに市民の要求に答えなければならないと思います。

警察官募集

▷昭和20年4月2日から昭和30年4月1日までに生まれた男子

▷学歴は問いません

▷申し込み受付 10月20日まで

▷初任給

高校卒 3万9,000円

大学卒 4万2,800円

期末・勤勉手当やそのほかの手当もあります。

▷試験は、佐賀県のほかに兵庫・警視庁・神奈川・愛知・大阪・福岡の6都府県が共同で実施します。したがって、1回の受験で自分の希望する順に都府県をきめることができます。詳しいことは、近くの警察署におたずねください。

土地造成には 厳しい規制措置を

—老人—

わたしは、さきに行なわれた市主催の「市内施設めぐり」に参加する機会を得、久しぶりに市内のあちこちを見せてもらった。

もちろん、施設めぐりは有意義なもので、政治にうといわたしにも市政の現況や将来計画などをつぶさに知ることができた。

でも、わたしには、気になることがある。それは、野放し同然に行なわれている土地造成の問題である。

車窓から見た市内のいたるところ、道路沿い・田畑山林、はては潮あそびに至るまで埋め立てが行なわれそこには、新しい住宅などの建設が着々と進んでいる。しかし、わたしの見たところ、ほとんどの造成地が完全な排水施設や砂防手段をおこなっていないように

思われた。

七月豪雨は、市内にも大きな被害をもたらした。もちろん、その被害のおおかたは自然のわざわいなのかも知れないが、多分に「人工災害」も含んでいるのではなからうか。

無謀・無計画ともいえる

造成が、いままでの水路や下水の流れをかえたり、もしくは、しゃ断や破壊によ

って、付近住

民とのトラブ

ルの原因をつ

くり、さらに

は予期せぬ地

域にまでも障

害を及ぼして

いるのである。聞くところ

によると、最近、市の窓

口にもこうした問題がほと

んど毎日のように持ち込ま

れているという。

目ざましいまでに発達し

た最近の技術をもってして

も、今日なお大災害をひき

おこしている。その大きな

原因の一つは、このような

自然の法則を無視した、無理な開発が行なわれているためではなからうか。



の会議できる特別会議室、また3階は500人を収容する大会議室などになっています。

また、組合員ロビーには、竜とほうおうを描いた陶板壁画が飾られています。壁画は、31センチメートル角の陶板を48枚組み合わせたものでタテ1.87メートル、ヨコ2.05メートルあります。

特産品コーナーは、伊万里焼のやきものや、市の特産品を展示するようにできています。

結婚式場は神式で、貸衣装を備え11日からオープンしましたが、申し込みが殺到し大好評です。

総工費は、用地・用地造成費・建築費を含めて約2億500万円かかりました。

消費者通信

冷凍食品を買うときは

- がっちり凍っているもの
- 包装の内がわに霜のないもの
- 食品の保管状態をたしかめる
- 経済性も考える
- 買い物のいちばんあとに買う

なお、魚や肉類の調理時期は、半解凍（表面はやわらかく、中身がまだ凍って堅い感じ）のときが最適です。

消費生活苦情相談員 立石幸子

市農協会館が完成

県下一を誇る結婚式場も

立花台地の一面に市農協会館が完成し、9月6日、落成式が行なわれ

いうえに駐車場がないなど条件が悪く、組合員に不便をかけていたこと



▶みごとに完成した市農協会館◀

ました。

市農協は、7年前に10農協が合併これまで立花町の西松浦農協会館の借家住いでした。しかし、道路が狭

から昨年10月から建設を急いでいたものです。

会館は、2万平方メートルの敷地に鉄筋コンクリート3階建て延べ2,601平方メートルで、1階は事務室・計算室・役員室お

よび機械室・レストラン・組合員ロビー・特産品コーナーなどがあり、2階は、結婚式場や着付室・和室2間・50人収容の披露宴会場・100人

1日450トン処理もOK

みかん選果場の増設終わる

伊万里市・西松浦郡内の6農協でつくっている西松浦販売農業協同組合連合会（宮本岩見会長）は、ことしの6月からみかん選果場の拡張工事を進めていましたが、このほど竣工、9月20日落成式を行ないました。

伊万里・西松浦地区は、現在、約1,500ヘクタールのみかんを栽培していますが、幼木の成長に伴い年ごとに生産量がふえ、ことしはおよそ1万8,000トン・4年後の昭和50年には3万トンに達するものと予想しています。したがって、現施設では処理が困難になってきました。

幸い、伊万里・西松浦地区が、ことしから果樹広域主産地として国の指定をうけました。その初年度事業として選果場の拡張工事をしたものです。

なお、これまでの選果場は、1時間12トン処理の選果機を備えていましたが、処理能力が低いため元の建物に建てついで2倍に拡張、1時間10トン処理1基・22トン処理の選果機2基と加工用みかんに使う10トン処理の選果機1機を備え、1日450

トン・これまでのおよそ3倍を処理



できる施設を備えました。また、集出荷の能率をあげるため1,216万円で購入した電動計算機を導入したほか集荷用コンテナ2万5,000個・フォークリフト3台を備えるなど約1億5,390万円の事業費を投入しています。

また、更に48年度には、酸・糖度の分析や葉の養分を測る測定器などを充実し、49年度は600トンの低温貯蔵庫を導入して出荷調整と鮮度の高い、うまいみかんを出荷できる機能を備えます。

“文化祭”は29日に幕あけ

市民会館を中心に5つの会場で

わたしたちの郷土には、長年にわたって文化活動に精進している団体が30団体もあります。これらのかたがたは、市文化連盟の組織のもとで日ごろから郷土文化の向上を願ってためまぬ努力を続けています。

その会員が中心になって、例年開かれている“文化祭”は、ことしは10月29日から11月6日まで9日間に

わたって盛大に開催されることになっています。繁忙の秋ですが、ひとときをおさそい合わせてぜひご観覧ください。

プログラムは次のとおりです。

▷芸能発表

謡曲・仕舞・箏曲・尺八・長唄
吟詠・コーラス・バレエ

10月29日 11時～16時

市民会館

▷俳句会

11月1日 18時から 円通寺

▷茶会

11月3日 10時～16時

▷展示会

- ・生花・書画・盤景展 玉屋4階
- ・写真展 〃 階段
- ・菊花展 〃 屋上
- ・名石・盆栽展 格岩寺

▷8ミリ映写会

11月5日 13時 18時

浜町会館

▷日本舞踊発表会

11月5日 12時～14時 市民会館

なお、事務局は中央公民館です。

いずれおとらぬ秀作

玉屋で夏休み作品展ひらく

子どもたちが、夏休みのあいだに 一生懸命つくりあげた作品の展示会



が、9月8日から13日まで、伊万里玉屋で開かれました。

習字や工作・調査研究物など、秀作1,665点が会場いっぱいに展示され、親子づれなどたくさんの参観者でにぎわいました

炎天下3,000人がつどう

にぎわった市民体育祭

第3回伊万里市民体育祭は、9月2日、市民約3,000人が参加して国見台運動公園一帯の各会場で熱戦を展開しました。

ことしの大会は、これまでの運動会主体の競技に加え、野球・バレーボール・すもう大会なども同時に開かれたため、例年にない盛り上がりを見せました。

なかでも、陸上競技場で行なわれた大運動会は、第1回大会から連続優勝をねらう伊万里町が、ことしも終始リードを続けて優勝、これまで第2位を守り続けた山代町が意外にふるわず、大川町が躍進賞を獲得する活躍で第2位になりました。

また、応援賞は、小・中学生を中心に整然とした応援で他町を圧倒した二里町が獲得しました。

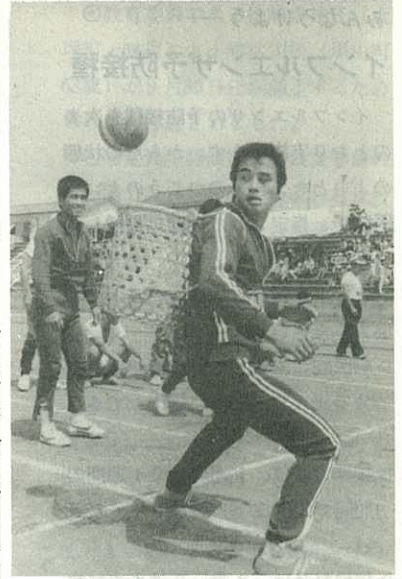
このほか、公園内の各会場では県体出場権をかけた野球・ソフトボ

ール・バレーボール・卓球・すもう大会も行なわれました。

成績は次のとおりです。

- ▷総合 ①伊万里町 162点②大川町 (躍進賞) 107点③松浦町99.5点④波多津町97点⑤山代町96点⑥黒川町93点⑦南波多町81点⑧二里町 (応援賞) 69.5点⑨東山代町67点

- ▷野球 ①山代町②伊万里町
- ▷ソフトボール ①伊万里町②東山代町
- ▷卓球 ①伊万里町
- ▷バレーボール ①伊万里町②南波多町③山代町



▶なかなか思うようには入りません◀

- ▷すもう ①波多津町②松浦町③伊万里町

—— 引揚者の方へ ——

預けた通貨等は早く請求を

終戦のため海外から引揚げたかたが、税関や海運局、もしくは外地の現地軍・日本自治会・在外公館にあずけた通貨や証券などを、昭和28年9月から税関が返還業務をしています。

しかし、まだかなりの通貨や証券などが未請求のままになっています。寄託したかたは上陸した港を管轄する税関か、もよりの税関に照会のうえご請求ください。

返還手続きの方法や返還業務をしている税関は次のとおりです。

▶返還手続きの方法

返還請求書に保管証を添えて、物件を保管している税関かもよりの税関に送付してください。

この場合、保管証の名まえと請求者の名まえがかわるときは、両者の関係がわかる市町村長の証明書などを添えてください。また、保管証をなくしたときは、保管証に記載され

た事項と同じ内容の事項を記載した書類、引揚げの事実を証明する書類(引揚証明書の写真など)および誓約書を添えてください。

▶上陸地と物件を保管している税関

- 函館・小樽・室蘭・根室・釧路留萌・稚内(函館税関本関)
- 新潟(東京税関新潟税関支署)
- 横浜・浦賀・久里浜(横浜税関本関)
- 名古屋(名古屋税関本関)
- 田辺・舞鶴(大阪税関本関)
- 神戸・呉・大竹(神戸税関本関)
- 長崎・佐世保・鹿児島・加治木(長崎税関本関)
- 門司・仙崎・博多(門司税関本関)

なお、詳しいことは門司税関監視部第1部門におたずねください。

◎所在地 〒801 北九州市門司区西海岸1丁目3
電話 (093) 321-3031

共同募金はじまる

「赤い羽根」で親しまれている共同募金運動が、今月から始まります。

昨年、皆さんから寄せられたあたたかい浄財は130万円をこえています。そのうち、およそ78万円(60%)が市に還元され、市社会福祉協議会からの助成を加え、約100万円を大川内山や東山代町天神の児童遊園地など4つの施設と子どもの育成費、母子・老人福祉費などに活用されています。

ことしの伊万里市の募金目標額は、一般募金125万円・歳末助け合い募金67万円、あわせて192万円です。皆さんのご協力をお願いします。

みんなうけよう —

インフルエンザ予防接種

インフルエンザの予防接種を次表のとおり実施します。からだの状態のよいとき、自分のつごうのよい病医院で、指定された期間に接種してください。

なお、接種のときは次のことに協力ください。

▷病医院に常備している問診票を自分で記入し、医師に提出してください。

▷接種方法は、1週間から4週間の間隔で2回皮下に接種してください。

▷接種料金は、3歳～6歳まで無料
15歳以上は1回につき200円です
ただし、生活保護世帯は無料です
から、受給票を窓口に表示してください。

▷病医院の外来・入院患者の診療に支障のないようにし、医師の指示に従ってください。

百日せき・ジフテリア

予防接種は中央公民館

百日せき・ジフテリア混合の予防接種は、毎月第2・第3火曜日の13時30分から14時30分まで、中央公民館で行なっています。

ただし、接種日が祭日にあたる時は、その翌日です。

▷生後3か月から5か月までの乳児で3～4週間かんかくで3回接種します。満3か月になったら必ず接種してください。

▷生後5か月までに3回接種が終わった乳児は、1年～1年半経過後もう1回接種を受けてください。

▷熱があるときは接種できないことがあります。

前回接種もれのかたは、ぜひ接種してください。

※おでかけのときは、母子手帳をお忘れなく。

インフルエンザ予防接種日程表

町名	医療機関	1回目	2回目	時間
伊万里	加茂医院	10月11日～13日	10月17日～19日	13.00～14.00
	林産婦人科	〃	〃	14.00～15.00
	前田病院	〃	10月18日～20日	13.30～15.00
	堀田病院	〃	〃	13.00～15.00
	鈴山耳鼻咽喉科	10月12日～14日	10月19日～21日	11.00～12.00
	山口皮膚科	〃	〃	15.00～16.00
	菊池外科	10月16日～18日	10月23日～25日	13.00～15.00
	原皮膚科	10月18日～20日	10月25日～27日	14.00～16.00
	加茂皮膚科	〃	〃	〃
	浜田産婦人科	〃	〃	17.00～18.00
	小島眼科	10月19日～21日	10月26日～28日	14.00～15.00
	光武外科	11月13日～15日	11月20日～22日	10.00～14.00
	野中眼科	〃	〃	10.00～16.00
	伊万里保養院	〃	〃	9.00～12.00
	山口外科	〃	〃	11.00～12.00
	隅田病院	11月16日～18日	11月23日～25日	14.00～16.00
	夏秋医院	〃	〃	11.00～12.00
	口石整形外科	〃	〃	14.30～15.30
世戸医院	11月20日～22日	11月27日～29日	14.00～15.00	
岩崎医院	〃	〃	13.30～15.00	
桑原産婦人科	〃	〃	13.00～14.00	
岡村医院	〃	〃	13.00～15.00	
木本耳鼻咽喉科	〃	〃	11.00～12.00	
黒川	小島医院	10月11日～13日	10月18日～20日	13.00～14.00
波多津	小島医院	10月19日～21日	10月26日～28日	13.30～14.30
	今村医院	11月13日～15日	11月20日～22日	19.00～20.00
南波多	助広医院	10月11日～13日	10月18日～20日	14.00～15.00
	小島医院	11月20日～22日	11月27日～29日	11.00～12.00
大川	山口医院	10月18日～20日	10月25日～27日	16.00～17.00
	平山医院	11月13日～15日	11月20日～22日	13.00～14.00
松浦	近藤医院	10月11日～13日	10月18日～20日	13.30～15.00
	福岡医院	10月19日～21日	10月26日～28日	13.00～14.00
	日浦医院	11月13日～15日	11月20日～22日	〃
二里	毛利病院	10月18日～20日	10月25日～27日	13.00～15.00
	山元外科	11月13日～15日	11月20日～22日	〃
	井手診療所	〃	〃	14.00～15.00
	太田整形外科	〃	〃	〃
東山代	市民病院	11月16日～18日	11月24日～27日	13.00～15.00
	立石医院	10月12日～14日	10月19日～21日	11.00～12.00
	滝野診療所	10月18日～20日	10月25日～27日	10.00～12.00
山代	内山産婦人科	11月20日～22日	11月27日～29日	13.00～15.00
	水上病院	10月11日～13日	10月18日～20日	11.00～12.00
	西田病院	〃	〃	15.00～16.00
山代	樋口医院	10月18日～20日	10月25日～27日	11.00～12.00
	黒木医院	11月13日～15日	11月20日～22日	10.00～14.00
	向山診療所	11月15日～17日	11月22日～25日	13.00～14.00
	社保浦崎病院	11月20日～22日	11月27日～29日	13.00～15.00
	博仁会医院	〃	〃	14.00～15.00

こどもページ

うめたて進む七ッ島団地

こん月から造船所の建設もはじまる

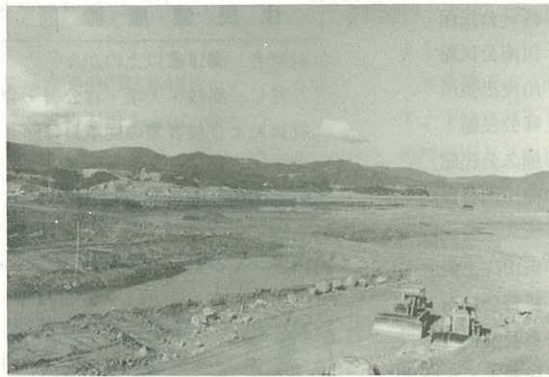
「七ッ島工業団地」のうめたて計画は、すでに8月号でそのあらましをお知らせしましたが、その起工式が、このほど黒川町の工事現場でおこなわれました。

起工式には、池田佐賀県知事を始め、竹内伊万里市長や、この工事をうけもっている会社の人たちなどおよそ200人が出席して工事の安全をいのりました。また、起工式を記念してハッパの点火（火をつけること）式もおこなわれました。ハッパは、まえもって赤・青・黄と美しい色がつけられ、海の底や岩にしかけられています。

点火の合図とともに、池田佐賀県知事や工事をうけもつ会社の代表がつぎつぎにボタンをおすと、海中や岩山がものすごいばくはつ音とともにさくれつし、美しい、そして力づよい光景（ありさま）をえがきました。

でも、工事はすでに6月からはじまっていて、海面のしめきりや、山

をきりくずす作業がどンドンすすんでいます。写真で見ると、海がずっと沖



▶うめたて進む七ッ島工業団地◀

の方でしめきられています。このしめきったうちがわには、もっと沖の海の底にあるヘドロ（どろどろした土）と、山をきりとった土をまぜあわせて陸地をつくることにしているのです。

こうして海の底をさらえると、がんぺきもつくりやすくなるし、海もふかくなって、船が自由にではい

けることになりす。こうすると一石二鳥（ひとつで二つの効果をあげること）というわけです。なおこの方法を「しゅんせつ」とよんでいます。

さて、こうしてうめたてがすすむと、がんぺきが

くられます。このがんぺきになるコンクリートブロックも、すでに山代町の海岸いっただいづくられていす。ひとつは浦の崎、もうひとつは久原の東洋プライウッドのうらでつくられています。

ここでつくられているものは、わたしたちがいままで見たこともないとても大きなものです。

浦の崎でつくっているコンクリートブロックは「ケーソン」といって高さが12.5メートル・はば15メートルから20メートルもあり、箱のかたちをしています。

久原でつくっているのは、L字がたで、これも高さが9.5メートルもあるそうです。

この大きな鉄筋コンクリートブロックはぜんぶで

450こほどつぐられ海の中にしづめて基礎をかため、がんぺきをきずく

ことになっています。

計画によると、西がわ、いわゆる山代町のほうが、まっすぐにはかつて1,005メートル、北がわ（伊万里からみて沖のほう）が1,455メートル、東がわは、黒川町の海岸から沖あいにむかって672メートルもあります。

こん月5日には、名村造船所の新しい工場の起工式もよていさされています。いずれにせよ、2年後の昭和49年3月すえには148万2,000平方メートルという広い用地がかんせいします。そのいっかくには、長さが450メートル・はば66メートルもある25万トンの船もつくれるドックや工場などが建ちならび、巨大な船がつくられるようになります。

伊万里湾にうかぶ、そのおもしろすがたを見られるのも、もうまちかになったのです。



▶ケーソンを造る巨大な船団◀